

## X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎診断ガイドンス

**表 1** わが国における nr-axSpA の診断ガイドンス（厚生労働科学研究班\*による）

- 1) 45 歳未満で発症し 3 か月以上の腰背部痛があり、炎症性腰背部痛のいずれかの基準（図 2）<sup>3)4)5)</sup>に合致する。
- 2) 以下の基礎疾患を鑑別・除外する。  
乾癬、炎症性腸疾患、反応性関節炎、硬化性腸骨骨炎、SAPHO 症候群（掌蹠膿疱症性骨関節炎）、びまん性特発性骨増殖症、線維筋痛症、心因性腰痛症、変形性関節症など（鑑別診断の項目を参照のこと）。
- 3) 改訂 New York 基準の仙腸関節 X 線の grade 判定（表 2）<sup>6)</sup>で「両側の 2 度以上あるいは片側の 3 度以上」の基準を満たさない。
- 4) a) 仙腸関節の MRI 所見陽性（表 3）<sup>7)</sup>。  
または  
b) HLA-B27 保有かつ他疾患に起因せずに基準値を超える CRP 値の増加に加え、関節炎、踵の付着部炎、ぶどう膜炎、指趾炎、NSAIDs 反応性良好、SpA の家族歴のうち 1 つ以上の所見を認める。  
上記 1)～4) のすべてを満たす場合に、nr-axSpA と診断してよい

\*：厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）「強直性脊椎炎に代表される脊椎関節炎の疫学調査・診断基準作成と診療ガイドライン策定を目指した大規模多施設研究」班